

令和6年3月11日
第3回スポーツ推進審議会

社会体育館の有料化について

文化スポーツ振興部 スポーツ課

●社会体育館の現状

- 社会体育館は市内に**32施設**あり、中核市では鳥取市（41施設）の次に多い施設数
- 多くの市民に利用されているが、地域や時間帯によっては利用が集中し予約が取りづらい状況（稼働率 市街地 約85%、中山間地 約30%）
- 社会体育館は老朽化が進み、これまで耐震改修や施設の維持に必要な諸設備の改修など、利用者からは目に見えない部分の改修に多額の経費がかかっており、その影響で利用者が望んでいる施設の利便性向上など、細やかな改修・修繕が遅れがちになる傾向
- 社会体育館を存続したいが、老朽化対策などの費用増加に対応できるだけの税収や財源が見込めない。
- 老朽化が進む中で、現在直面している課題への対策等を先送りせざるを得ない状況（維持管理、老朽化対策、機能向上等）
- 施設数が多く、現状の費用のまま維持するには、数を減らさなければならなくなる。
【長野市公共施設個別施設計画】建物の対策：集約／複合化5施設、長寿命化17施設、事後保全10施設

●社会体育館の課題

- スポーツの活性化のために社会体育館を残していきたいが、老朽化が進み、大規模な改修や建設当時のままの古い設備の改善を行わないと長く使い続けることができない。
- 社会体育館の数を減らさずに快適にできるだけ長く使っていくために、日常的に社会体育館を利用している皆さんの協力が必要となっている。



●社会体育館の目指す姿

利用者と協力しながら存続し、
多くの人々が快適で安全に使える体育館

- 1 全ての社会体育館を残して今後も継続して使い続ける
- 2 時代の変化に対応した、先の世代も使える体育館にする
- 3 近年の異常気象などの環境変化や災害等に対応した体育館にする

●社会体育館の目指す姿の実現に向けて

社会体育館の管理方策

- 1 社会体育館は、耐用年数や利用率を見据えつつ、当面の間は今ある施設をできる限り活用できるよう、改修による維持を進めます。
- 2 時代のニーズに対応した社会体育館の適切な維持・管理のため、受益者負担(有料化)を進めます。



これまでのように設備や運営管理を維持しつつ、利用者負担を充てながら、老朽化対策や施設機能の向上、施設維持管理の充実によって社会体育館の利便性や施設全体の環境を向上していく。

想定されている取組例

- 生活様式の変化に合わせた**トイレの洋式化**
- 熱中症対策として**空調設備の導入**
- 天候に左右されない子供の遊び場など、**子育てへの活用**
- **中山間地施設**の利用促進
- 社会体育館と**部活動の地域移行**との効率の良いすみ分け
- 地域活動・文化芸術活動などの**幅広い活用**
- 異常気象による豪雨や災害時の**避難所**としての機能の向上 など

社会体育館の受益者負担の考え方①

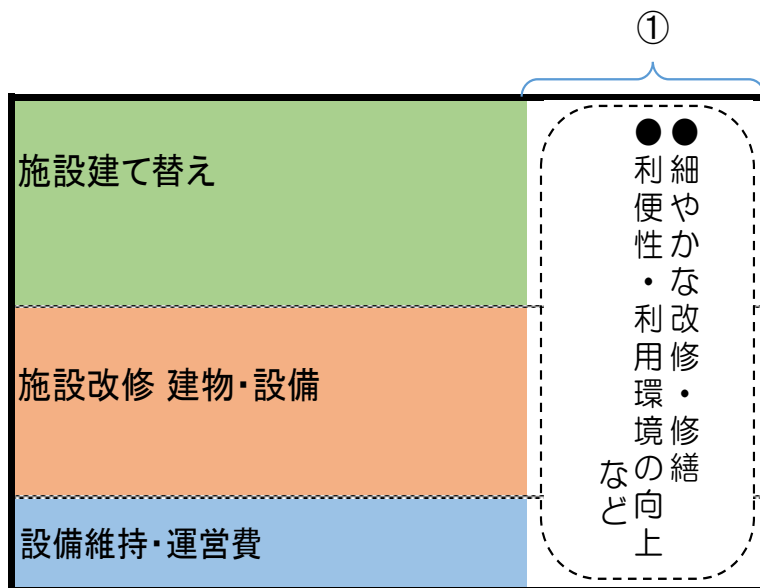
●社会体育館の受益者負担の充当のイメージ

これまで

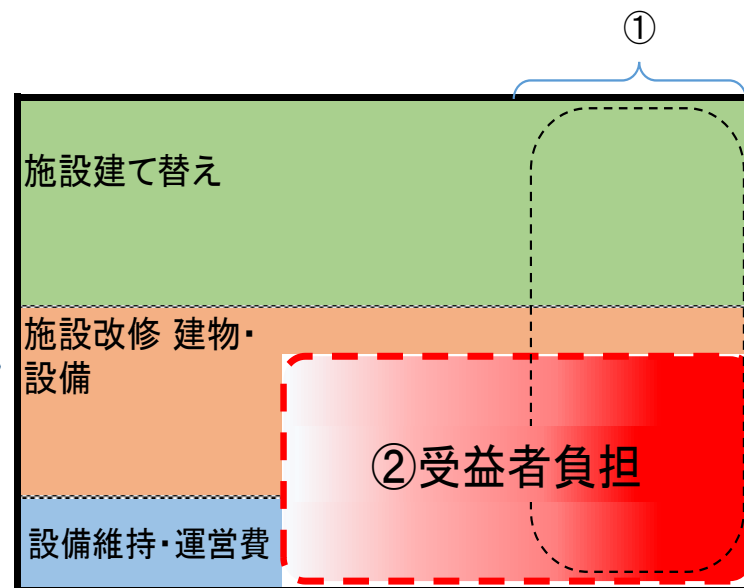
全て市の負担で緊急性の高い改修・修繕を優先していたため、細やかな改修・修繕など、進まなかった部分や今後必要な利便性や施設全体の環境の向上などの部分（①）に取り組むことができなかった。

これから

利用者に一部を負担（②）していただくことで、細やかな改修・修繕など進まなかった部分や必要な利便性や施設全体の環境の向上などの部分（①）に充てることが可能となる。

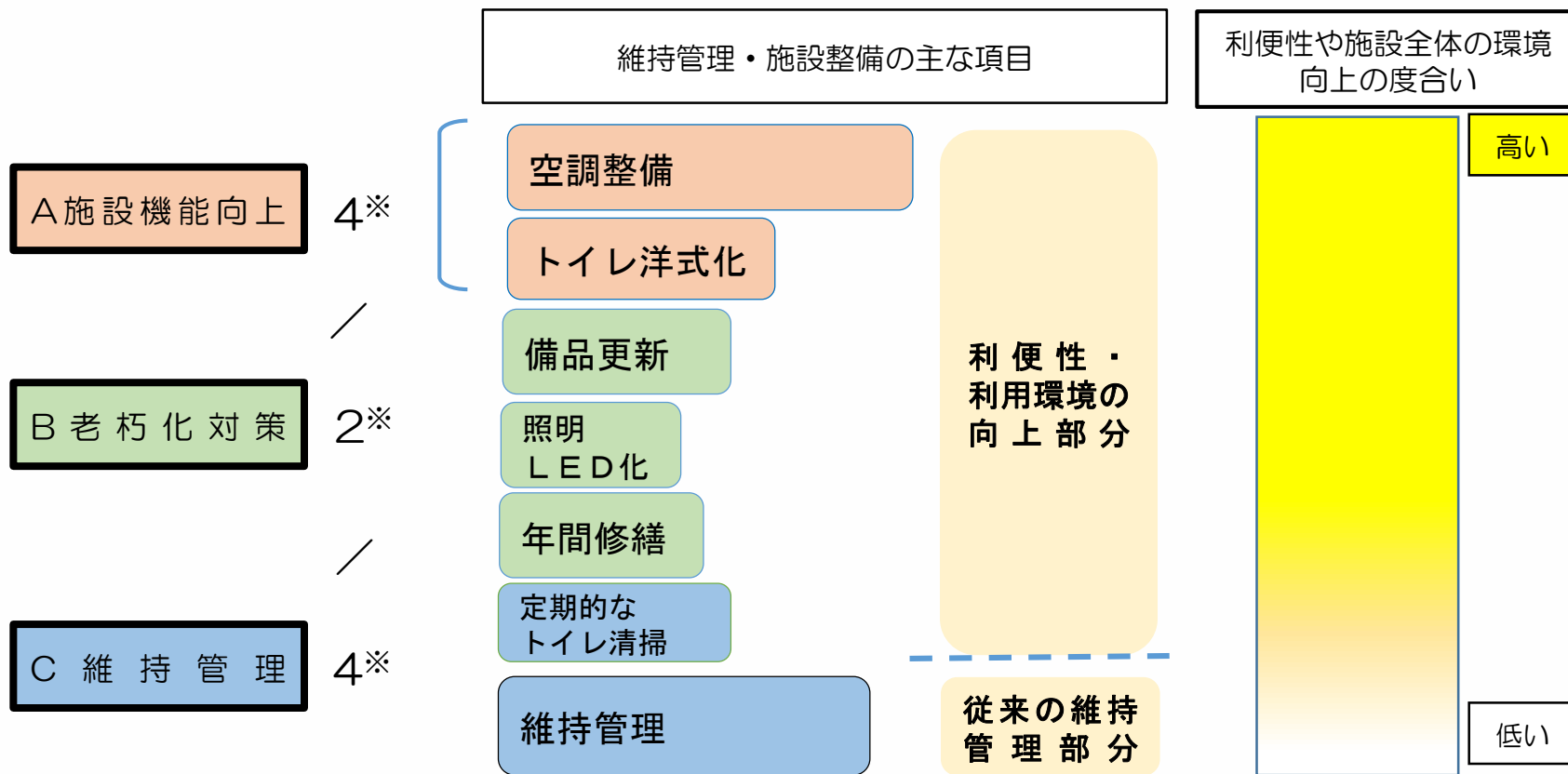


色がついている部分は市の負担



社会体育館の受益者負担の考え方②

●利便性・利用環境の向上と維持管理・施設整備の関係



※社会体育館に係るコスト全体を10とした時の割合

A施設機能向上：B老朽化対策：C維持管理 = 4：2：4

社会体育館のコストと使用料の考え方①

I 基準コスト（1利用（1コマ2時間）あたりのコスト）

区分	32施設全体の 1年あたりのコスト (千円)	1利用（1コマ2時間） あたりのコスト (円)
A（施設機能向上） ＋ B（施設老朽化対策） ＋ C（維持管理）	310,955千円 ①	【基準コスト】 5,400～7,000円※ (①÷年間コマ数)

※利用率80～60%

年間コマ数（利用率60%）

= 1日あたりコマ数6件（1コマ2時間）×開館日数357日×施設数（32面＋2面）×0.6=43,697

年間コマ数（利用率80%）

= 1日あたりコマ数6件（1コマ2時間）×開館日数357日×施設数（32面＋2面）×0.8=58,262

II 市民の負担割合の考え方

市民の負担割合は、基準コストの50%程度を念頭に検討する

社会体育館のコストと使用料の考え方②

Ⅲ 割引・割増しについて

様々な状況に応じた割引や割増しを導入する

割引・割増し（案）

利用区分	考 え 方	割引・割増率
施 設	老朽化が進み、今後建替えや長寿命化改修等を行わない施設は割引する。（施設数10/32）	20%割引
	利用の平準化を図るため、令和4年度の施設利用率が50%以下の施設は割引する。（施設数8/32）	40%割引
	上記の両方に該当する場合でも、割引率は最大40%とする。	40%割引
時 間 帯	照明を利用する夜間の時間帯は割増しする。	20%割増
利用面数	使用料は、体育館の1面分の料金を基本とする。（バスケットコート2面が取れる豊野、信州新町を全面利用する場合は2面分の使用料）	
曜 日	各施設の曜日別利用率は大きな差がなかったため、平日と土日で割引・割増は行わない。	
早朝、深夜	日中や夜間の利用を分散し予約を取り易くするため、今後、一部施設で早朝または深夜利用の実証を行ないながら割合を検討する。	

●社会体育館使用料の計算式

$$\text{使用料} = \text{Ⅰ} \times \text{Ⅱ} \times \text{Ⅲ}$$

（基準コスト） （市民の負担割合） （割引・割増）

社会体育館使用料（案）

● 1 利用（1 コマ2時間）あたりの使用料試算（案）

市民利用（5,400～7,000円×1/2）（負担割合を50%とした場合）

使用料試算（案）

単位：円（100円未満切捨て）

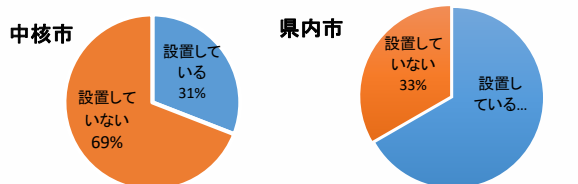
	昼 間 8:30～17:00	夜 間 17:00～21:00 (20%割増)
標準的な体育館	2,700～3,500	3,200～4,200
大規模な改修を予定していない 体育館 (20%割引)	2,100～2,800	2,500～3,300
利用率の低い体育館 (40%割引)	1,600～2,100	1,900～2,500

* 市外居住者の使用料は、基準コストの100%を負担割合として算出

参考：利用人数で最も多いのは、「5～9人」43.7%、次に「10～14人」が33.3%、
10人前後の利用が77%（令和4年実施 社会体育館利用者アンケートより）

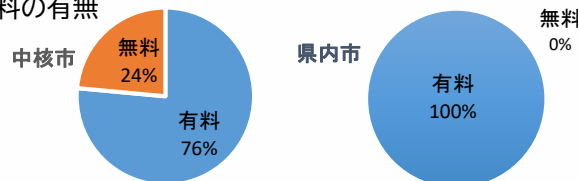
●中核市・県内他市照会(社会体育館に関する調査) R4実施 スポーツ課調査

① 社会体育館(概ね地域ごとに設置され、無人の施設)を設置の有無



	設置している	設置していない	計
中核市	17	38	55
県内市	12	6	18

② 使用料の有無



	有料	無料	計
中核市	13	4	17
県内市	12	0	12

③ 有料化している県内他市の状況

自治体名	設置施設数※1	主な施設の使用料(全面、昼間2時間あたり)	照明代(全面2時間あたり最高額)※2	市外居住者料金
松本市	25	1,250	520	なし
上田市	2	1,220	-	使用料の1.3倍
飯田市	2	600	600	使用料の2倍
諏訪市	3	1,460	1,460	なし
須坂市	4	1,570	2,300	使用料の1.5倍
伊那市	2	800	400	使用料の2倍
駒ヶ根市	5	1,600	1,000	使用料の2倍
大町市	5	1,480	840	市民利用時減免
佐久市	10	830	620	使用料の3倍
千曲市	6	1,500	1,100	使用料の1.5倍
東御市	15	1,220	1,320	使用料の2倍
安曇野市	8	2,400	使用料に含む	なし
(平均)	7	1,328	1,016	

※1 長野市の社会体育館設置数32施設

※2 諏訪市の照明代は夜間料金と昼間料金の差額を計上

●社会体育館利用者アンケートの主な結果

- ・社会体育館の利用団体で最も多いのは、「おおむね市内の人が加入しているクラブや同好会」52.2%
- ・主な年齢層で最も多いのは、「10歳代」42.7%、次に多いのは「40歳代」14.3%、
- ・利用人数で最も多いのは、「5~9人」43.7%、次に「10~14人」が33.3%と、10人前後の利用が77%
- ・社会体育館の維持の方向性についての回答で、改修して使い続けるとする意見は79.7%
- ・使用料についての回答で、有料化を容認する意見は68.3%
- ・その他、予約が取りづらいこと、設備や備品への不満などの意見有

調査目的：①受益者負担について利用者の考えを把握 ②体育館の効率的な維持管理のための利用者ニーズを把握

対象：令和元年度～3年度に社会体育館を利用した登録団体4,653団体 実施方法：メールまたは(メールで連絡できない場合は郵送)で依頼

回答方法：WEBフォームで回答 調査期間：令和4年9月1日(木)～9月15日(木) 配布数：4,022団体 回答数：1,008件(25.1%) 有効回答数：989件(24.6%)

